

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	横浜薬科大学
設置者名	学校法人都築第一学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部等 共通 科目	専門科目	合計		
薬学部	漢方薬学科	夜・通信	13.5		125.5	139.0	19	
	臨床薬学科	夜・通信						
	健康薬学科	夜・通信						
	薬科学科	夜・通信	11.5		105.5	117.0	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HP 掲載 https://www.hamayaku.ac.jp/images/material/56/files/yotei0.pdf
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	横浜薬科大学
設置者名	学校法人都築第一学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

事業報告書	(https://www.hamayaku.ac.jp/about/infoDisclosure/)
-------	---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	専務取締役	2025. 6. 26 ～ 2029. 6. の定時評議 員会終結ま で	経理・広報
非常勤	取締役	2025. 6. 26 ～ 2029. 6. の定時評議 員会終結ま で	経営・管理
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	横浜薬科大学
設置者名	学校法人都築第一学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・WEB シラバス作成過程 ① 当該年度の教育科目表を決定、教務部副部長がシラバス作成説明会を実施 ② シラバスの作成ガイドラインに基づき、提出期限を各科目担当教員に明示 ③ WEB による入稿～校了、入力状況のチェック、未入稿シラバスの指導 ④ 前年度の3月にWEB シラバス完成 ・シラバスの作成、公表時期 ① シラバスは、前年度の11月～3月初旬にかけて作成 ② 公表時期は、前年度3月下旬	
授業計画書の公表方法	大学HPに公表 https://syllabus.hamayaku.ac.jp/web/web_search.php?t_mode=pc
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・シラバスの評価方法に基づき、各科目の成績の評価は、優、良、可、不可(2024年度学生から秀、優、良、可、不可)の評語をもって表し、不可は不合格とする。可以上を合格とし、その合格科目には次年度への進級が年度末において決定したとき、卒業が決定したとき、又は、退学が決定したときに所定の単位を与える。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・客観的な指標(指標の算出方法)について 前期・後期のすべての履修科目点数の平均点をもって、各年次とも席次を算出	
客観的な指標の算出方法の公表方法	大学HPに掲載 https://www.hamayaku.ac.jp/currentstudent/affairs/pdf/evaluation.pdf

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ・卒業認定に係わる具体的な内容 ① 健康薬学科、漢方薬学科、臨床薬学科では、6年以上在学し、学則に定める単位数を修得した学生 ② 薬科学科においては、4年以上在学し、学則に定める単位数を修得した学生 ・卒業認定に関する方針の適切な実施状況 修業年限以上在学し、所定の授業科目及び単位数を修得した者について、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を許可する。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	大学 HP に掲載 https://www.hamayaku.ac.jp/about/policies/

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	横浜薬科大学
設置者名	学校法人都築第一学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	情報公開 大学概要 横浜薬科大学 薬学部 (hamayaku.ac.jp) 閲覧室での閲覧
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告(書)	同上

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 自己点検・評価 情報公開 大学概要 横浜薬科大学 薬学部
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 大学評価結果について 情報公開 大学概要 横浜薬科大学 薬学部

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

① 教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 薬学部
教育研究上の目的(公表方法: 教育研究上の目的 大学概要 横浜薬科大学 薬学部)
(概要) 学則第 1 条に『建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を教育理念とし、広く知識を授けるとともに、深く薬学に関する学術を研究教授し、臨床に関わる実践的能力を持つ人間性豊かな薬剤師および薬学の専門知識と技術を備えた医薬品開発関連等の研究者・技術者を育成することを目的とする。これにより、学術の深化と人類の福祉に貢献することを使命とする。』と謳っています。また、三つの方針の前文にも記述しています。
卒業又は修了の認定に関する方針(公表方法: 大学の 3 つの方針 大学概要 横浜薬科大学 薬学部)
(概要) 6 年制：健康薬学科・漢方薬学科・臨床薬学科 6 年間以上在籍し、本学科の教育目標に沿って編成された授業科目を履修し、以下に記した能力及び姿勢に加え、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、学士（薬学）の学位を授与します。 ① 惻隱の心を持つ薬剤師としての姿勢 ② 個の医療・健康と公衆衛生を担う基礎的な科学力及び実践的能力 ③ 専門領域を超えて研究する姿勢及び自己研鑽につながる総合的な学修能力 ④ それぞれの学科においては、①～③を観点として薬剤師の基本的な資質に加えて、各学科独自の専門性を身に付けていること。 4 年制：薬科学科 4 年間以上在籍し、「人類の健康と福祉に貢献し先端医療を支える高度な知識と技術を備えた研究者・技術者の育成」という、本学科の教育目標に沿って編成された授業科目を履修し、以下に記した能力及び姿勢に加え、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、学士（薬科学）の学位を授与します。 ① 惻隱の心を持つ研究者・技術者としての姿勢 ② 医薬品の創製・開発及び環境・衛生分野などの薬学関連領域を担う基礎的な科学力 ③ 専門領域を超えて研究する姿勢及び自己研鑽につながる総合的な学修能力
教育課程の編成及び実施に関する方針(公表方法: 大学の 3 つの方針 大学概要 横浜薬科大学 薬学部)
(概要) 6 年制：健康薬学科・漢方薬学科・臨床薬学科 卒業認定・学位授与に関する方針を達成するために、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施します。 ① 薬学教育モデル・コア・カリキュラムに基づき、低学年における導入教育、教養教育に始まり、学年進行に伴い高度な薬学専門教育を順次性をもって履修できるよう科目を編成 ② 豊かな人間性と知性を養うために、人文科学・社会科学・自然科学を広く学べる教養教育科目や選択科目を設置 ③ 薬剤師としての使命感及び高い倫理観を醸成するために、全学年を通してヒューマンズム教育・医療倫理教育に関連する科目を設置 ④ 行動型学修や参加型学修などを通して、薬剤師に必要なコミュニケーション能力の育成をはかる教育を実施 ⑤ 社会のグローバル化に対応できる薬学的管理能力を養成するため、多学年にわたり語学教育を実施 ⑥ 薬剤師としての実践的能力を修得するため、基礎系科目、基礎医療系科目及び臨床医療

系科目を低学年から体系的に設置
⑦実習や卒業研究などを通して、研究を遂行する意欲と問題発見・解決能力を修得するための教育を実施
⑧実際の薬剤師業務を体験し臨床での実践的能力を修得するため、薬局・病院実習を実施
導入教育に始まり薬局・病院実習や卒業研究を通して、生涯にわたり自己研鑽を続けるための情報収集能力及び次世代を育成する意欲と態度を修得するための教育を実施
⑩専門性の高い薬剤師教育を目指すため、健康薬学科、漢方薬学科及び臨床薬学科それぞれに独自科目を設置する。

4 年制：薬科学科

卒業認定・学位授与に関する方針を達成するために、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：[大学の 3 つの方針](#) | [大学概要](#) | [横浜薬科大学 薬学部](#)）

（概要）

6 年制：健康薬学科・漢方薬学科・臨床薬学科

本学の建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を基本理念とし、薬学科の教育目標を達成するために、多様な選抜方法により、以下の資質をもつ者を受入れます。

- ①薬剤師として社会に貢献したいという、明確な目的意識と意欲がある。
- ②高等学校の教育内容を幅広く修得し、特に化学、生物、数学、英語の基礎的な内容を身に付けている。
- ③薬学を修めるために必要な基礎知識を身に付けるための入学前教育に、最後まで取り組むことができる。
- ④健康増進や公衆衛生等、薬学に関することに興味を示し、さまざまな問題について主体的に議論・説明ができる。
- ⑤さらに、それぞれの学科については、
健康薬学科：運動・食・健康を基に、人の健康の維持や増進を考え、地域の医療や疾病の予防に貢献したいと思う人
漢方薬学科：漢方薬の知識を修め、医療に寄与することを重視し、実践したいと思う人
臨床薬学科：チーム医療で、専門的な薬物治療に関する能力や個々の疾患の特殊性に対応したいと思う人

4 年制：薬科学科

本学の建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を基本理念とし、薬科学科の教育目標を達成するために、多様な選抜方法により、以下の資質をもつ者を受入れます。

- ①研究者・技術者・教育者として社会に貢献したいという、明確な目的意識と意欲がある。
- ②高等学校の教育内容を幅広く修得し、特に化学、生物、数学、英語の基礎的な内容を身に付けている。
- ③薬学を修めるために必要な基礎知識を身に付けるための入学前教育に、最後まで取り組むことができる。
- ④健康増進や公衆衛生等、薬学に関することに興味を示し、さまざまな問題について主体的に議論・説明ができる。

④ 教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：[情報公開](#) | [大学概要](#) | [横浜薬科大学 薬学部](#)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関する事

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	2人	－					2人
	－	51人	27人	16人	8人	3人	105人
	－	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		人					人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：大学ホームページ https://www.hamayaku.ac.jp/about/teachers/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
薬学部 （6年制）	340人	333人	97.9%	2040人	2112人	103.5%	人	人
薬学部 （4年制）	30人	19人	63.3%	120人	125人	104.1%	人	人
合計	370人	352人	94.6%	2160人	2237人	103.6%	人	人
（備考）								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
薬学部 （6年制）	280人 (100%)	3人 (1.1%)	197人 (70.4%)	80人 (28.6%)
薬学部 （4年制）	25人 (100%)	5人 (20.0%)	25人 (72.0%)	2人 (8.0%)
合計	305人 (100%)	8人 (2.6%)	215人 (70.5%)	82人 (26.9%)
（主な進学先・就職先）（任意記載事項）				
（備考）				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) ・シラバスの作成、公表時期 ①シラバス及び年間の授業計画は、前年度の11月～3月初旬にかけて作成 前年度3月下旬に公表
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) ・シラバス記載の評価方法に基づき、各科目の成績の評価は、優、良、可、不可の評語をもって表し、不可は不合格とする。 - 可以上を合格とし、その合格科目には次年度への進級が年度末において決定したとき、卒業が決定したとき、又は、退学が決定したときに所定の単位を与える。 ・卒業認定に係わる具体的な内容 ①健康薬学科、漢方薬学科、臨床薬学科では、6年以上在学し、学則に定める単位数を修得した学生 ②薬科学科においては、4年以上在学し、学則に定める単位数を修得した学生 ・卒業認定に関する方針の適切な実施状況 修業年限以上在学し、所定の授業科目及び単位数を修得した者について、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を許可する。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
薬学部	漢方薬学科	189単位	有・無	単位
	臨床薬学科		有・無	単位
	健康薬学科		有・無	単位
	薬科学科	124.5単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：[キャンパスマップ/施設紹介](#) | [大学概要](#) | [横浜薬科大学 薬学部](#)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
薬学部	健康薬学科	1,900,000 円	400,000 円	2,300,000 円	(その他内訳) 教育充実費 1 年次～6 年次合計 300,000 円
	漢方薬学科				施設充実費 2 年次～6 年次合計 2,000,000 円
	臨床薬学科				
	薬科学科	1,500,000 円	400,000 円	1,220,000 円	(その他内訳) 教育充実費 1 年次～4 年次合計 200,000 円 施設充実費 2 年次～4 年次合計 1,020,000 円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) - 講師以上の教員による「指導担任制」を設けている。1 人の教員が 1～4 年次に在籍する各学年 6 人程度の学生の担任として、修学面や生活面での学生支援を行っている。5、6 年次学生は、研究室に所属していることから、所属研究室の（主任）教員が指導担任となる。 - 授業内容に関する質問には、薬学教育センターに質問ルームを設置し、専門の教員を配置し、個別の質問に対応している。また、授業担当教員へ直接質問できる時間は、オフィスアワーとしてシラバスに明示されており、それ以外の時間帯でも教員は可能な限り応対することになっている。 - 学生特別支援室を設置し、合理的な配慮が必要な学生の支援について相談・サポートを実施している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) - 低学年から就職活動への準備となるキャリア支援プログラム提供。 - 企業の採用方法の多様化に対応した情報提供（採用試験、インターンシップ活用等） - 学内就活セミナー開催（対面講座、オンライン講座）、自己啓発セミナー - 合同企業説明会（Web）、学内企業説明会（対面） - 学生への個別対応（進路相談、面接練習、履歴書・エントリーシート添削等） 進路・就職 横浜薬科大学 薬学部 (hamayaku.ac.jp) (概要)
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) - 委嘱校医、公認臨床心理士常勤の学生相談室、看護師常勤の医務室の設置 - 指導担任教員による学生個々の身情把握及び適宜の指導 - カウンセリング及び学生相談リーフレットの作成、大学 HP や学内掲示板への掲示 - ハラスメント防止リーフレットの作成、学生への配布

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：[情報公開](#) | [大学概要](#) | [横浜薬科大学 薬学部 \(hamayaku.ac.jp\)](#)

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F114310104712
学校名 (〇〇大学 等)	横浜薬科大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人都築第一学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		224人（ ）人	225人（ ）人	226人（ ）人
内 訳	第Ⅰ区分	118人	105人	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅱ区分	52人	50人	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅲ区分	29人	28人	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	—	—	
	区分外（多子世帯）	21人	36人	
家計急変による 支援対象者（年間）				—（ ）人
合計（年間）				227人（ ）人
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当）	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意 欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	人	人
計	—	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良である
ことについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2 年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたこと
により認定の取消しを受けた者の数

退学	—
3月以上の停学	0人
年間計	—
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	20人	人	人
計	20人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。